



NME News

栄養経営士のための情報紙

2022
9・10
月号

●発行/一般社団法人
日本栄養経営実践協会
(JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE八丁堀9階
●制作/株式会社日本医療企画

お問い合わせ先/一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 http://nutrition-management.jp

第7回「全国栄養経営士のつどい」東京大会を振り返る

仲間の取り組みを自らの糧とし 新たな改革へと踏み出そう！

第7回「全国栄養経営士のつどい」は2022年9月11日(日)に東京国際フォーラム会議室G407(東京都千代田区)で行われた。今回も現地会場とオンラインのハイブリッドで開催し、計130名が参加した。盛況のうちに終了した大会について、協会の宮澤靖代表理事に感想をうかがった。



日本栄養経営実践協会
代表理事
東京医科大学病院
栄養管理科科长
宮澤靖

●基調講演・特別講演 基調講演の水野英彰

先生には、腸内細菌の有用性について、その重要性を示唆していただきました。最新情報もご紹介いただき、日常の臨床業務において、非常に役立つ内容であったと思います。

特別講演の今村英仁先生は、私たち管理栄養士が医療経済的にどのような貢献ができるのかをお話してくださいました。また、医師会や厚労省等の他団体がどのような考えの元に病院や高齢者施設での

給食管理を行おうとしているのかを具体的に示してくださいました。

栄養経営士の理念である「栄養部門のマネジメント」と「患者を診る臨床栄養管理」についてそれぞれの分野でお話いただき、会員にとって大きな学びとなったことだと思います。ぜひ、明日からの業務マネジメントに活かしてください。

●栄養経営士による 実践報告

タスクシフトで医師や看護師の周辺業務をどれだけ担えるかが、管理栄養士の次のミッションになります。そのキーワードが病棟常駐だと考えますが、人員不足や教育の不備により、入院栄養管理体制加算がつく特定機能病院でも実現できてい

ないのが現状です。

そんななか、一般病院への病棟常駐の拡大を前提に、今から準備をはじめると報告が多数あったことを高く評価したいと思います。とくに教育改革を行った発表があったことは、大変意義があります。スタッフの増員には時間がかかりますが、部署内の教育ならすぐに取りかかれま

●実践報告全体を通しての感想は、着眼点、アウトカムの出し方などきれいなマネジメントのストーリーができており、感心させられる報告例が多く、非常にうれしいというものが

正直なところです。これからも攻めの栄養管理で改革を進め、

その結果をぜひ報告して欲しいと思います。

今年も「つどい」でサロンを開催することができました。日々の悩みに対し、経験豊富な理事の先生方からアドバイスをいただけたことは大変良かったと思います。あまり多くの質問には答えられま

●栄養経営士サロン

今回のハイブリッドでの開催で、会場では少ない人数ながら会員の皆さまの元気なお姿を見ることができました。こうした出会いがあるのも「つどい」ならではの思っており、来年度の「つどい」では、今年以上に会員の皆さまと直接お会いして、交流が深められることを期待しております。

第7回「全国栄養経営のつどい」東京大会 プログラム

【基調講演】	超高齢社会に立ち向う栄養経営士に期待されるアウトカムとは？ 水野英彰 医療法人社団 悦伝会 目白第二病院副院長
【特別講演】	病院の栄養部門が抱える課題とこれからの管理栄養士への期待 今村英仁 公益財団法人慈愛会今村総合病院理事
【栄養経営士による実践報告】	〈座長〉 山下 茂子 吉田 貞夫 真壁 昇 一般社団法人日本栄養経営実践協会理事
【スペシャルセッション】	栄養経営士サロン ～栄養経営士の悩みを登壇者が解決！ 〈座長〉 宮澤 靖 一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事

2022年度「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式で開催中です!

「栄養経営士」 資格認定試験

- 試験日:毎日受験可能
- 受験料:9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法:IBT(Internet-Based Testing)方式
※インターネットを経由しスマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間:通年
- 受験資格:管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習はWEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは



一般社団法人 日本栄養経営実践協会
The Japan Association for Nutritional Management Practice

〒101-0042 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-Gate八丁堀9F
TEL:03-3553-2903 FAX:03-3553-2904

第7回「全国栄養経営士のつどい」東京大会 開催レポート

食事から治療へと変容する栄養 経営士は新時代を導く先導者へ

第7回「全国栄養経営士のつどい」東京大会のテーマは「栄養経営士の時代がやってきた！ー知恵と志で挑む新時代の栄養ー」。今回は宮澤靖代表理事をはじめ6名の理事が参加し、会場では登壇者の発表を真剣に聞く参加者の姿が見受けられた。

臨床栄養と給食管理 の両軸を学べた講演

東京大会は宮澤靖代表理事と秋山和宏副代表理事による開会のあいさつではじまり、最初の演目として医療法人社団悦伝会白第二病院副院長の水野英彰氏が基調講演を行った。



開会のあいさつをする宮澤靖代表理事



基調講演を行う水野英彰氏

講演の最初に水野氏はウィズコロナでの高齢者に対する栄養療法の重要性を説き、フレイルの進行や高齢者のイベント発生率の上昇

ついで懸念を示した。次にフレイルに対するアウトカム向上をめざした栄養療法のポイントのひとつとして「腸活」を挙げ、ヒトの腸内細菌叢(フローラ)について基礎的な情報から食事との関連までわかりやすく、いねいに解説した。

その後、腸内環境に着目した次世代の経腸栄養管理としてプロバイオティクスやプレバイオティクスについて説明し、最後に東大の新蔵礼子教授による「gAを用いた腸内細菌叢の改善に関する研究を紹介して、講演を終了した。



特別講演を動画で行った今村英仁氏

続いて、公益財団法人慈愛会理事長の今村英仁氏が事前に収録した動画で特別講演を行った。

今村氏は病院給食管理について何が問題か、臨床栄養管理はこれからどうなるのか、そして管理栄養士がこれから解決しなければならぬ課題について「病院経営者の視点から」解説した。豊富な資料を用いて現状を説明した今村氏は、まとめとして「病院給食管理については、ヒト(厨房の担い手)・モノ(調理システムの導入)・カネ(入院時食事療養に関する制度の問題)についてどう解

業務改善から新人教育まで幅広い実践報告

午後からは、大会の目玉である「栄養経営士による実践報告」が行われた。

前半3名、後半4名の計7名の発表が行われ、そのうち6名がオンラインで参加。前半は協会の山下茂子理事と吉田貞夫理事が、後半は山下理事と眞壁昇理事が座長を務めた。

最初の発表者は3年前の大阪大会でも発表していたかん専門病院ベテリル栄養科科長候補の勝山祥子氏。勝山氏は、コロナ禍のなかでより患者に寄り添った医療を実践すべく、さらなる栄養部門の改革を行った事例を報告した。改善すべき事例を病棟、外来、その他教育などの3つに分け、それぞれどのようなことを実践したのかを説明した内容には、今後の部門改善を考へる人にとって大いに参考になったのではないだろうか。

次に発表したのは、医療法人山部会上代成城病院栄養部の竹下尚美氏で、経営陣から出



前半の座長を務めた山下茂子理事(左)と吉田貞夫理事

た「食事の質を上げた」という要望に、どのように応えたかを報告した。

提示された抽象的な要望に対し、竹下氏はまず業務内容を見直し、不必要な業務をばっさり切り、部署内の動線の見直しも行い、就業時間内に課題解決に向け考える時間を確保した。そうして得た時間を導き出したという。現状で考えるのではなく、考える時間を捻出するところから手を付けた竹下氏の行動力に拍手を送りたい。

前半最後の発表者は医療法人徳洲会湘南鎌倉総合病院栄養管理センター主任の伊藤典子氏で、部署内での新人教育方法の改善について報告した。

掛がわかるように工夫、役職者が確認する時間を定期的につくり、早めのサポートができる体制をつくったことは、スタッフの質の確保とともに、新人が持つ不安への対策にもなるだろう。指導方法のマニュアル作成等まだ課題もあるというが、教育方法で悩んでいる人は、ぜひ参考にしてほしい。

仲間の報告を業務改善のヒントにしよう

実践報告後半の一人目は医療法人深仁会手稲溪仁会病院栄養部統括主任の菅野未希子氏で、新卒の管理栄養士の現状と自院で行っている新人教育プログラムについて報告した。

1年間の教育期間や交代制のプリセプター制度により、知識の習得が早くなり、仕事に対する新人の不安もかなり減った。業務改善の手法のひとつとして、良いヒントになったのではないだろうか。



実践報告で質問に答えるオンライン参加の発表者

栄養科科長の木村千恵里氏は、病棟常駐が一般病院にも拡大することを期待し、今から準備している様子を発表した。

栄養介入の見直し、カンファレンスの参加、疾患別の手順書作成等、事前に行う一つひとつの業務改善の積み重ねが栄養管理の質を向上させ、この先の病棟常駐を可能にしていくのだと感じさせる発表であった。

6人目の発表者は医療法人深仁会手稲溪仁会病院栄養部統括主任の菅野未希子氏で、新卒の管理栄養士の現状と自院で行っている新人教育プログラムについて報告した。



後半からは眞壁昇理事が座長として参加

なり軽減できたという。今後は中堅など他の年代への教育システムも検討中とのこと。また現場報告で発表していたきたい。

最後は唯一会場からの発表となった洛和会音羽病院栄養管理室課長(統括)の長谷川由起氏が登壇、病棟での栄養管理に向けて行っている取り組みを報告した。

計画的にスタッフの増員と業務整理を行うことで早期の栄養介入を実現、管理栄養士の病棟配置によりタイムリーな栄養管理が可能となり、栄養指導件数や栄養情報提供書の作成件数も増加したという。病棟常駐に向けて着々と準備を進める様子は、これから準備を進める人の参考になるだろう。

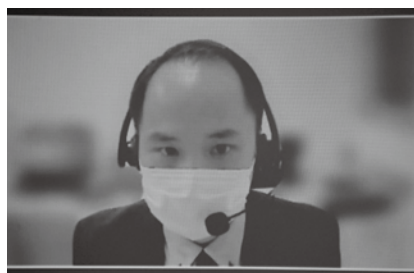


栄養経営士サロンで司会進行する宮澤代表理事と田中智美理事

紙面では紹介しきれないが、一つひとつの発表にさまざまな工夫や苦労、試行錯誤とその先にある成果と未来が詰まっている。一人でも多くの栄養経営士が、仲間の貴重な経験を糧として活躍することを願っている。



発表内容について会場からも質問が飛んだ



サロンには西岡心大理事もオンラインで参加した

豊富な経験に基づく回答で悩みを一刀両断

実践報告の後は、前回から続いて2回目となる栄養経営士サロン特別版を行った。毎月オンラインで開催している「栄養経営士オンラインサロン」を会場で行うもので、宮澤代表理事が司会進行を務め、つどいに参加しているすべての理事が参加者から寄せられた質問や悩みに回答した。内容は、栄養指導のノルマやNSTの活動内容についてといった日々の業務内容から、新人育成の悩みや管理職にとって必要な能力とそれを身につける方法といった教育・自己研鑽に至るまで、さまざまな質問・悩みが寄せられた。理事の先生方が自分の体験談を交えながら語る回答は、



■協賛企業一覧

- | | |
|----------------|----------------|
| アイドウ株式会社 | 一般社団法人 |
| 株式会社ファイン | 日本医療経営実践協会 |
| 株式会社フーズリンク | 一般社団法人 |
| 株式会社ヘルシーネットワーク | 日本介護福祉経営人材教育協会 |
| 株式会社日本医療企画 | (順不同) |

質問者はもちろん、聞いている参加者もいろいろな気づきが得られたのではないだろうか。

最後は古畑公監事より閉会のあいさつ(動画)があり、「第7回全国栄養経営士のつどい」東京大会のすべてのプログラムが終了した。

なお、開催後は約2週間にわたりオンデマンド配信も行われ、多くの参加者が視聴したことを付記しておく。

参加者の声

第7回「全国栄養経営士のつどい」東京大会 参加者アンケートより「参加してよかった!」生の声をご紹介します

- ・貴重なお話を聞く機会をいただき、感謝申し上げます。これからの自施設での活動に活かすべく、今回学んだ内容を参考に熟考し実行へ移していきます。
- ・栄養経営士の皆さまが自施設でさまざまな取り組みをされていて、皆さん現状把握が的確だと感じました。栄養経営士の方のお話をはじめて聞きましたが、とても勉強になりました。
- ・年々、発表される方のレベルが高く驚きます。刺激をいただき、明日からがんばろうという気持ちになります。また、ZOOMで開催いただきありがとうございます。来年も参加したいと思えます。
- ・皆様の問題解決に取り組む姿勢に力をいただきました。ところどころ泣きそうになり、自分も頑張ろうと思いました。今村先生の特別講演は豊富なデータと共に説得力があり、当院の問題とリンクしているため、経営陣に聞いていただきたいと感じました。
- ・全体を通してどの先生のお話も、理事の先生方のご意見、ご感想も興味深く、参加できてよかったです。自分の仕事に対する考え、方向性の再確認ができました。
- ・私が栄養経営士を取得して数年が経ち、実践につなげている先生方を見る度に自分の不甲斐なさを思いながらも熱い気持ちがよみがえってきます。このような大会を継続していただき感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・病院給食業界の変遷を詳しくお話を聞くことができよかった。今まで病院の体質的にお金をかける前に人手でなんとかするという流れが強かったが、そうも言えなくなってきた。上層部へのアプローチ方法を、人の流れ、仕事量まで考えて改革をしなければいけないと痛感しました。
- ・今日は貴重な時間を過ごさせて頂きありがとうございました。今回はwebでの参加とさせていただきますが、やはり会場で貴重な先生方と直接お話ししたり、発表された先生方に直接お会いしたりしたかった。以前参加し懇親会でつながった先生方とは今でも交流があり貴重なご縁と感じています。

患者の体内で起こっていることを知り、チーム医療で貢献できる管理栄養士になろう!

栄養経営特別セミナー 症例検討 【公開講座】WEBセミナー 「チーム医療に参画する為に知っておきたい知識」



講義内容

- 1) Evidenceで見る(診る)栄養サポートの重要性(26:35)
- 2) 症例1 78歳女性の場合(36:33)
- 3) 症例2 81歳女性の場合(36:40)

視聴方法 パソコン、タブレット、スマートフォン ※OSとブラウザのバージョンは紹介ページでご確認ください

視聴期間 14日間

申込および詳細 <http://hcmi-s.net/weblesson-hcm/e01/>

申込・お問い合わせ先

日本ヘルスケア
経営学院事務局
(株式会社日本医療企画内)
TEL:03-3553-2862
E-mail: jissenkenkyu@jmp.co.jp



宮澤靖

日本栄養経営実践協会 代表理事



栄養経営士には「経営」と「臨床」の大きな二本の柱があります。今まで協会ではマネジメントに軸足を置いた活動が多かったのですが、これからは臨床にも力を入れていきたいと考えております。この動画内では2つの症例を紹介していますが、私が話していることだけが答えではありません。「答えはベッドサイドにある」ということを忘れずに、参考例として活用してください。この動画を会員の皆様に広くご覧いただき、臨床能力を高めるお手伝いができればと思っております。そして、栄養経営士として「経営」と「臨床」の両軸に足を置き、アクティブに施設内で活躍されることを期待しています。

講師 宮澤靖(一般社団法人日本栄養経営実践協会 代表理事、東京医科歯科大学病院 栄養管理科 科長)

講義時間 約100分(全3動画)

受講料 4,400円(税込)

第7回「全国栄養経営士のつどい」東京大会を振り返って



発表者となり勇気を出して 新たな一歩を踏み出そう！

一般社団法人日本栄養経営実践協会 理事
ちゅうざん病院 副院長／金城大学客員教授
吉田 貞夫

今回も、栄養経営士のつどいに参加させていただき、会員のみなさんのご発表をお伺いし、みなさんが日々、現状を改善し、よりよい栄養ケアができる環境となるよう努力を続けていらっしゃることにとても感服いたしました。人材の教育、システムの改善、食材の調達など、お聴きになった会員のみなさんも、さまざまな気づきがたくさんあったのではないのでしょうか？ こうした取り組みが、来年、さらに大きな成果に結びつくのではないかと楽しみな部分が多々ありました。来年もご発表、どうぞよろしくお願ひいたします。

今回ご発表なさらなかった会員のみなさんも、来年はぜひご発表いただけたらと思います。今回のそれぞれのご発表に対して、事務局のみなさんが丁寧にサポートして下さったそうですので、ちょっと自信がない…という方も、ぜひ勇気を出して、新たな一歩を踏み出してください。取り組みがうまくいった場合だけでなく、うまくいかなかった場合も、何が問題だったか、それを克服するために、今後どのようにしていくべきかをまとめることにも大きな意義があります。きっと同じような問題で困っている人が全国にはたくさんいるはずですよ。

ところで、今回少し気付きましたのは、文字の小さなスライドが多かったことです。多くのことを伝えたいという気持ちからかもしれませんが、読む人の立場になって、読みやすい、わかりやすいスライドを工夫してみてください。



発表者の姿勢に栄養経営士としての あるべき姿を確認

一般社団法人日本栄養経営実践協会 理事
元熊本県立大学 環境共生学部 非常勤講師
山下 茂子

第7回「全国栄養経営士のつどい」東京大会は「栄養経営士の時代がやってきたー知恵と志で挑む新時代の栄養ー」のスローガンのもと、たくさんのご参加をありがとうございました。今回は、現地での発表と動画を交えた水野先生の基調講演、今村先生の特別講演、7人の実践報告と、ネットとライブの内容に大満足でした。

北海道から九州までの実践活動報告は、前半3演題を吉田先生と、後半4演題を真壁先生と座長を務めさせていただきました。毎年のごですが、演者の方々の課題を見つける力、どのように取り組むかの計画力、実践時の姿勢、結果の分析力に成長と感銘を受けました。内容も身近で、難しい問題にしっかり向き合い、周りや他職種を巻き込み、共同体制をつくり、前向きに、情熱を持って向き合う姿勢に、栄養経営士としてのあるべき姿、マネジメント力を確認することができました。同様の課題を持つ方々は、力を得られたことと思います。チャットを使用してたくさん質問が出され、的確な御回答をいただくことができました。ありがとうございました。

現在、毎月開催している栄養経営士サロンで、抱えている悩みを発言していただき、色々な方々とさまざまな方向からディスカッションしていけば、きっと解決の糸口を探ることができ、一人で悩むよりも早く解決します。交流を深め、親しく情報交換ができる栄養経営士仲間になれるようネットワークを拡大していきましょう。



あっぱれな栄養経営士！

一般社団法人日本栄養経営実践協会 理事
関西電力病院 疾患栄養治療センター栄養管理室 室長
真壁 昇

本大会が盛会に終了した今、発表報告をした栄養経営士は猪突猛進のことと存じます。発表報告をしていただいた演者に敬意を表し、今後の更なるご活躍を祈念申し上げます。

さて、本大会の感想を一言にすれば、想像を超えた「あっぱれな栄養経営士」による実践報告でした。現場で切磋琢磨し質の高い栄養管理を目指す栄養経営士はじめ、管理栄養士育成に係わる議論が行われました。すべての演者が時間を一杯使ったプレゼンであり、それでもまだ話し足りない演者の眼力に心を打たれました。ひとつ質問をすれば、膨大な情報を議論し合う、まさに世に貢献する仲間の集会でありました。

すべての演者の共通点は、現場の歪みに気づく力、そして情熱を武器に邁進し、無数のアイデアから最適な選択を行い、かつそれを実践につなげる無限の底力でしょうか。どの発表も熱気に溢れた発表報告ばかりで、ハイブリット開催であったことから育児をしながら発表する演者もあり、その熱心な眼を見ただけで、私は涙が溢れました。

来年、栄養経営士が旋風を巻き起こした成果を持ち合い、わが国の医療環境そして栄養部門マネジメントの発展に向け、また仲間として議論合いましょう！



ともに前に進む仲間でありたいと 強く感じた「つどい」

一般社団法人日本栄養経営実践協会 理事
医療法人深仁会 手稲深仁会病院 栄養部 部長
田中 智美

第7回全国栄養経営士のつどいに、多くの栄養経営士がご参加くださいましたこと、厚くお礼申し上げます。

管理栄養士が自らの役割を確立し、成果を示していく「マネジメント」というスキルを、実践報告のなかで多数発表していただき、課題を抱えながらも1歩1歩前に進まれている姿に感銘を受けました。また、今回の実践報告では当院の統括主任2名にも発表の機会をいただき、栄養部として大切にしていた多職種連携やスタッフ教育について、改めて課題を共有し振り返る機会となりました。多くのご意見をいただくことで、さらなる活動の原動力になったと感じており、この場をお借りし感謝申し上げます。

診療報酬が改定され期待される役割が増える一方、そのチャンスの活かしかたによって、この先の管理栄養士としてのあり方が問われる時代になったと感じております。多くの栄養経営士との繋がりの中から視野を広げると、意外と身近なところにヒントが隠れていることもあります。今回の様なサロン形式の交流の場を活用していただき、ともに前へ進んでいける仲間でありたいと強く感じた栄養経営士のつどいでした。

来年更にパワーアップして皆さまにお会いできるようがんばっていきたく思います。

第7回「全国栄養経営士のつどい」東京大会 栄養経営士による実践報告・発表者からのメッセージ

●報告テーマ

患者を理解して トータル面から支えるために



医療法人ベテール てんかん専門病院ベテール
栄養科・科長候補 **勝山 祥子**さん

まずは東京大会での現場報告に登壇させていただき、厚く御礼を申し上げます。

今回は2回目の発表ということで、前回の発表内容を踏まえて、その課題をどのように解決したかということを含めた報告を行いました。会場での発表が叶わず、栄養経営士の方々との交流ができなかったことが非常に残念でした。患者に寄り添うために見直した業務内容や受託業者への働きかけなど、少しでも皆様に伝わっていただければ幸いです。そして気持ちを新たに、現状に満足することなく、自分自身で課題を見つけてより良い医療の提供・職場環境の改善に励んでいきたいと考えています。

●報告テーマ

SCUにおける 栄養プロトコル導入とその効果



医療法人深仁会 手稲深仁会病院
栄養部統括主任 **笠井 由季菜**さん

今回、リモートにて参加させていただきました。大変貴重な機会を与您えいただき、協会理事の皆さま、運営スタッフの皆さまに深く感謝申し上げます。

報告した取り組みは、栄養管理の成功、失敗を重ねた経験や日々の業務で多職種と交わることを続け、形にできた事例の一つと捉えております。参加された皆さまの栄養経営マネジメントの参考の一つとなりましたら幸いです。

この先の社会、医療の変化に応じて進化する必要があると報告の準備、つどいへの参加を通じて改めて考えました。多くの方々から得た『知識』と『志』を糧に精進していきたいと思っております。

●報告テーマ

いつかきっと病棟常駐 ～今やる事できる事～



財団法人北海道医療団 帯広第一病院
栄養科科長 **木村 千恵里**さん

近い未来に向かって自身に何ができるのかを中心に考え、実践した内容を報告いたしました。この発表を機に更に問題点、認識を新たにしているところです。

おかれている現状で目標に向かうにはどう進むべきか、まだまだ実践のはじまりではありますが、今回の機会によりいろいろと整理ができました。大変感謝しております。質問をいただいた方々にも同じような思いがあると知り、心強くも思いました。今後もこの会を通じてつながれることを強く望みます。未発表の皆様はぜひぜひ発表をされることをお勧めいたします。得るものが盛り沢山です!

最後に、理事の先生をはじめ事務局様にお世話になりましたこと、お礼申し上げます。

●報告テーマ

栄養管理室から病棟での栄養管理へ ～タスクシフトシェアを目標に～



洛和会音羽病院
栄養管理室課長(統括) **長谷川 由起**さん

つどいの実践報告での皆さんの発表は、自施設の課題と合致していることが大変多く、とても勉強になりました。特に教育面は課題と考えていたので、今回お聞きした内容を参考に取り組んでいきたいと考えています。

私自身は会場参加で発表させていただいたのですが、かなり緊張しました。現在も取り組み途中、模索中で、発表、質問ともにお聞き苦しいところがあったと思います。

取り組んだことを振り返る良い機会となり、また、理事の先生方と直接お話をさせていただけたことで、今後の課題が明確となりました。より一層頑張っていきたいと思えました。

●報告テーマ

当院の栄養指導、 栄養管理の教育方法について



医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院
栄養管理センター主任 **伊藤 典子**さん

今回はこのような発表の機会をいただきありがとうございます。当院の栄養指導、栄養管理の教育方法について発表させていただきました。発表の準備をした際、部署内で今までのことを振り返り、そして今後の課題を改めて確認ができた良い機会となりました。今回の発表が、教育方法について同じように悩まれている方の参考になれば幸いです。

多くの改善に取り組んでいる先生方に刺激され、また「全国栄養経営士のつどい」で発表できるように日々努力していきたいと思っております。ありがとうございました。

●報告テーマ

新人教育プログラム実施後の 効果と今後への展望



医療法人深仁会 手稲深仁会病院
栄養部統括主任 **菅野 未希子**さん

先日は発表の機会を与您えくださり、座長の先生方を始め、関係の皆様にご挨拶申し上げます。

発表の準備中には、自分の業務の問題点や詰めの甘さに改めて気付くことができました。また、他の方々のご発表を拝聴し、新しい視点等を教えて頂けたことで、大変勉強になりました。今後も職員が安心して業務に取り組める環境作りと、患者さんにとってより良い栄養療法を支援することを目指して、日々業務をおこなっていきたく感じております。

今回はありがとうございました。

※順不同

●報告テーマ

栄養部門の業務改善を考える ～当院の場合～



医療法人山部会
上代成城病院 栄養部 **竹下 尚美**さん

今回、栄養経営士のつどいで実践報告するために取り組みをまとめはじめた所から「栄養経営士」としての視点が活かされたように思います。発表依頼の承諾・協会事務局とのやり取り・PowerPointでのスライド作成方法・まとめ方など、つどいで経験した一連の流れを新人教育に使いました。

実践報告した内容は現在も絶賛進行中のため、発表を通じて今後も邁進していく活力を得ることができました。



日本栄養経営実践協会 後援

第6回日本ヘルスケアダイバーシティ学会のご案内

11月3日(木・祝)に「第6回日本ヘルスケアダイバーシティ学会」が開催されます。日本ヘルスケアダイバーシティ学会は、医療・介護業界でダイバーシティ経営を普及する目的で設立され、毎年大会を開催しています。

今年は特別講演講師として萩原なつ子氏が登壇。萩原氏は2014年、東京23区で唯一「消滅可能性都市」と指摘された豊島区で、誰もが「わたしらしく、暮らせる」ダイバーシティに基づくユニバーサルなまちづくりを目指した「としまF1会議」で座長を務められました。その萩原氏がWell-Being(ウェルビーイング)なコミュニティについて語る、必聴の内容となっています。また、「医師と医療従事者の働き方改革」をテーマに4名の講師が、それぞれの視点で講演します。ぜひご参加ください。

プログラム

●特別講演

「東京都豊島区『としまF1会議』から考えるWell-Beingなコミュニティ」

講師：萩原なつ子氏(独立行政法人国立女性教育会館理事長、NPO法人日本NPOセンター代表理事)

●シンポジウム「医師と医療従事者の働き方改革」

座長：安藤高夫氏(医療法人社団永生会理事長・第6回日本ヘルスケアダイバーシティ学会大会長)

シンポジスト：渋谷明隆氏(学校法人北里研究所常任理事)

長堀 薫氏(国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院病院長)

小西竜太氏(エム・シー・ヘルスケアホールディングス株式会社上席執行役員CSO/CMO)

田中志子氏(医療法人大誠会理事長)

2022年

11月3日(木・祝) 10:00~16:00

会場：オンライン参加 又は 会場参加(東京)

国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス
(東京都港区赤坂4-1-26)

受講料：事前申し込み 一般5,000円 会員4,000円

当日参加6,000円(いずれも税込)

※当協会会員は、会員価格で参加可能

定員：オンライン参加200名、東京会場100名

大会長：安藤高夫氏(医療法人社団永生会理事長)

〈後援〉

全日本病院協会、日本医師会、日本医療法人協会、日本介護支援専門員協会、日本看護協会、日本認知症グループホーム協会、日本病院会、日本慢性期医療協会、公益社団法人全国老人福祉施設協議会、東京都医師会、東京都看護協会、一般社団法人日本栄養経営実践協会ほか

〈お問い合わせ〉

日本医療企画九州支社(担当:上津原)

TEL:092-418-2828

e-mail:y-uetsuhara@jmp.co.jp

お申し込みはこちらから！



2022年度「栄養経営士」資格認定基礎講習(会場・WEB受講)

「栄養経営士」資格認定基礎講習は、「栄養経営」という考え方を理解するための講習で、受講が栄養経営士の資格認定試験の受験要件となっており、宮澤靖代表理事が直接参加者に講義を行います。

基礎講習はどなたでも受講可能で、すでに会員の方も受講いただけます。入院栄養管理体制加算に関する調査・情報など、新しい内容も追加されており部門マネジメントに役立つこと間違いなしです。

講義内容

1. なぜ、今栄養部門が重要になっているのか
2. 自分が勤める栄養部門の現状分析
3. 具体的な目標設定と達成に向けた実践的アプローチ
4. 部門の業務の質を高めるためのアウトカム指標とは
5. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
6. 病態把握能力と臨床栄養教育

2022年

11月27日(日) 10:00~17:00

〈開催方法〉

東京会場およびオンライン受講

〈受講料〉

一般：8,500円

会員：5,100円

詳細・お申し込みはこちら！▶



〈お問い合わせ〉

一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局

TEL: 03-3553-2903

講師



みやざわ やし
宮澤 靖氏

一般社団法人 日本栄養経営実践協会
代表理事
東京医科大学病院 栄養管理科 科長

会員は特別価格で受講できます！

復習やモチベーションアップのためにぜひご参加ください！

「栄養経営士」資格認定基礎講習DVD



資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講が可能！

☆3枚組、特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます！

〈こんな方におすすめ〉

- ・会場で受講したが、内容を復習したい
- ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
- ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

本編(収録時間/DISC 1: 90分、DISC 2: 73分)

1. 院内・施設内における栄養部門の現状分析
2. 目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
3. 業務の質を高めるためのアウトカム分析
4. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
5. 適材適所の組織マネジメント
6. 病態の把握能力

特典映像(収録時間/DISC 3: 約30分)

観てわかる！近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて

■講師：宮澤 靖 代表理事ほか

■受講料：8,500円(税込) 会員価格：3,850円(税込)

【お問い合わせ・資料請求】 一般社団法人日本栄養経営実践協会 TEL03-3553-2903 くわしくは

検索